

# 第5期 雄武町総合計画

# 後期実施計画書

様式1

No. 09010130

政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	1 農業の振興	事業優先度	B	
単位施策	3 生産技術の向上	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	畜産指導者育成事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	9 産業振興課	
事業主体	北オホーツク農業協同組合	関係課	#N/A	
事業指標	畜産指導者会議の開催	関係課	#N/A	
事業目標	年6回以上	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	無	関係例規・法令名	無	
住民協働	無	関係個別計画名	無	

全体計画 事業内容		平成25年度 事業内容	平成26年度 事業内容	平成27年度 事業内容	平成28年度 事業内容	平成29年度 事業内容
計画 内容	地域農業の生産技術の向上及び経営の安定化等を図るため、関係機関(農協・普及センター・NOSAI等)が連携し、現状分析や問題点・課題点の検証を行い、地域農業者への指導力向上を図る。	畜産指導者会議の開催	畜産指導者会議の開催	畜産指導者会議の開催	畜産指導者会議の開催	畜産指導者会議の開催
	事業費(千円)	0	0	0	0	0
計画 事業費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
実績 事業費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
関連 事項	特定財源の名称	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】	畜産指導者会議の開催 5回	畜産指導者会議の開催 4回			
		※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	6回以上	6回以上	6回以上	6回以上
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
		全体達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	事業進捗状況	☆☆☆	☆☆☆			

事業名	畜産指導者育成事業	評価者	管理職	職氏名	産業振興課長	横田 和幸
		評価者	作成者	職氏名	農務係長	南 慎一

様式1  
平成26年度実施  
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	農業関係機関担当者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	畜産指導者会議								
【抱える課題やニーズは】	異動等により、関係者間の連携や情報の共有が困難である。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	関係者が参集し、情報の共有化を図る。	① 畜産指導者会議の開催数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成26年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>6回</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>4回</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>66.7%</td></tr> </table>	目標年度	平成26年度	目標値	6回	実績値	4回	達成度	66.7%
目標年度	平成26年度										
目標値	6回										
実績値	4回										
達成度	66.7%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	個々の酪農家に対し指導助言を行い、経営の安定化を図る。	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成26年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td></td></tr> <tr><td>実績値</td><td></td></tr> <tr><td>達成度</td><td>#DIV/0!%</td></tr> </table>	目標年度	平成26年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0!%
目標年度	平成26年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	畜産指導者会議の開催	関係機関の担当者が参集し、各種意見交換を行うことにより、本町農業に対する知識向上が図られ、酪農家に対する指導・助言につながった。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	担当者の知識向上により、農業経営者に対する指導・助言を行うことが可能となる。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効	設定した目標値の達成状況		各種情報の共有化や農業者の課題に対する検討を行った。
	<input type="checkbox"/>	達成	
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/>	ほぼ達成	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由		事業費がないため、効率的と判断する。
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	人員削減	
/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減 その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由		農業関係者の情報共有や知識向上のための事業であるため、公平と判断する。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	受益が一部に偏る その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
<b>B</b>		
業務の繁忙により、計画どおりの会議の開催ができなかった。		

今後の展開方向  
(Action)

<b>継続/現状維持</b>		
多様化する農業環境を把握するため、継続的な会議の開催が必要である。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止